

3/2(土)認知症と脳卒中の公開講座開催

脳神経外科の専門医が、予防・診断・治療を解説

【本件のポイント】

- 脳の病気に対する意識を啓発し、受診率向上を狙う
- 第77回日本脳神経外科学会近畿支部学術集会共催
- 本学附属病院13階講堂にて、無料・事前申込制

学校法人 関西医科大学（大阪府枚方市 理事長・山下敏夫、学長・友田幸一）脳神経外科学講座（教授・浅井昭雄）は、3月2日（土）10時から附属病院（枚方市 病院長・澤田敏）において「関西医科大学脳神経外科学講座 市民公開講座」を開催します。これは今年4月に開催が予定されている第77回日本脳神経外科学会近畿支部学術集会のサテライトイベントで、一般の方を対象とした無料のセミナーです。

当日は同講座所属の専門医が登壇し、認知症と脳卒中の“予防・診断・治療”について解説。参加は無料で事前申し込み制ですが、当日の飛び込み参加も歓迎いたします。定員は150名ですので、ご家族に認知症や脳卒中患者さんがいらっしゃる方、ご自身の認知症・脳卒中を防ぎたい方など、たくさんの方のご来場をお待ちしております。

日時	3月2日（土）10：00～12：00
会場	関西医科大学附属病院 13階講堂（大阪府枚方市2-3-1）
プログラム	【講演01 10：00～】 「認知症について知っておきたいこと ー原因とその対策ー」 同講座 羽柴哲夫講師 【講演02 11：00～】 「その頭痛、実は危険なサインかも」 同講座 岩田亮一助教
定員	150名
参加費	無料
事前申込み	右記URLからお申し込み http://bit.ly/2swEd7N
お問合せ	関西医科大学 脳神経外科学講座（担当：岩田亮一） TEL 072(804)0101 tatsumih@hirakata.kmu.ac.jp
共催	第77回日本脳神経外科学会近畿支部学術集会

【本件取材についてのお問合せ先】

学校法人 関西医科大学 広報戦略室（岡田、清水）

〒573-1010 大阪府枚方市新町2-5-1

電話：072-804-2128 ファクス：072-804-2344 メール：kmuinfo@hirakata.kmu.ac.jp

別 添 資 料

■セミナー開催の趣旨、背景

我が国では、世界でも例を見ない深刻な少子高齢化が進行しています。また、平均寿命が伸びるにつれて認知症を発症する高齢者が右肩上がりが増加し、厚生労働省は2025年に認知症の患者数が700万人を突破する、との予測を発表しました。これは65歳以上の高齢者の5人に1人が認知症を患うということであり、治療・介護費だけでなく事故防止のためのインフラ整備費など、社会コスト増大を意味しています。

その一方で、平均寿命の伸びと比較すると健康寿命の伸び率は小さく、寝たきりや施設で過ごす高齢者は増加しています。その要因はいくつかありますが、脳卒中もその一つです。脳卒中は発症後、急性期の治療を経て生命を維持できたとしてもそれ以前の機能が損なわれることが多く（機能予後が悪い）、麻痺や言語障害、嚥下・排泄障害など、様々な後遺症が高確率で起こるためです。そもそも北河内地域では10万人あたりの脳卒中治療件数が、全国平均を下回っていることが「RESCUE Japan Project 全国調査」で判明。独居世帯が多いこと、脳卒中の予兆を思わせる症状（麻痺やしびれ、呂律がまわらない、言葉がでない、片方の目が見えない、物が二つに見える、視野の半分が欠ける）でも我慢してしまう傾向などが影響していると考えられます。

認知症は、治療の開始が早ければ早いほどその進行を遅らせることができ、機能を回復させることに成功した例も報告されています。さらに、患者さん自身の治療意欲を高く保つためには、周囲の理解・啓蒙が有効です。そして脳卒中も、脳血管内の瘤（こぶ）や軽度の出血、閉塞した血管を早めに発見し、重症化する前に治療（投薬・手術）を行えば深刻な後遺症の可能性を低減させられる病気であり、家族や友人知人が小さな異変を指摘することで早期発見に至ることがあります。

本学脳神経外科学講座では、これらの社会情勢・地域特性、疾患の特徴を踏まえ、認知症あるいは脳卒中を早期に発見するため早めの医療機関受診を促し、早期に治療を開始するよう誘導することで、誰もが自分らしく生きて寿命を全うできる社会を実現するため、市民公開講座を開催することにしました。同講座は、今後も同様のイベント開催だけにとどまらず、Webサイトやパンフレットなどを使った情報発信、啓発活動を積極的に展開する予定です。

【市民公開講座に関するお問合せ先】

関西医科大学 脳神経外科学講座（担当：岩田亮一助教）

TEL 072(804)0101 tatsumih@hirakata.kmu.ac.jp

※…第77回日本脳神経外科学会近畿支部学術集会

4/6（土）千里ライフサイエンスセンター5F（大阪府豊中市）において開催が予定されている支部学術集会で、主に若い世代の発表とプレゼンテーション向上の場であるとともに、全国学術総会やその他の全国規模の学会への登竜門的存在としての側面を有しています。当日は、若手の教育を目的として様々な特別講演や教育セミナーを準備。特別講演では東北大学てんかん学分野教授の中里信和先生が登壇し、てんかん治療の最新の知見を講演します。

【本件取材についてのお問合せ先】

学校法人 関西医科大学 広報戦略室（岡田、清水）

〒573-1010 大阪府枚方市新町2-5-1

電話：072-804-2128 ファクス：072-804-2344 メール：kmuinfo@hirakata.kmu.ac.jp